



# 財政事情を公表

⇒財政課(☎775-4247・FAX776-8873)

毎年6月と12月に財政事情を公表しています。これは市民の皆さんが納めた貴重な税金や国・県からの支出金などがどのように使われているかを知り、市政について理解を深めていただくものです。今回は、平成21年度決算と平成22年度上半期の収支状況をお知らせします。

## 平成21年度決算

一般会計

### 実質収支は12億2千万余円

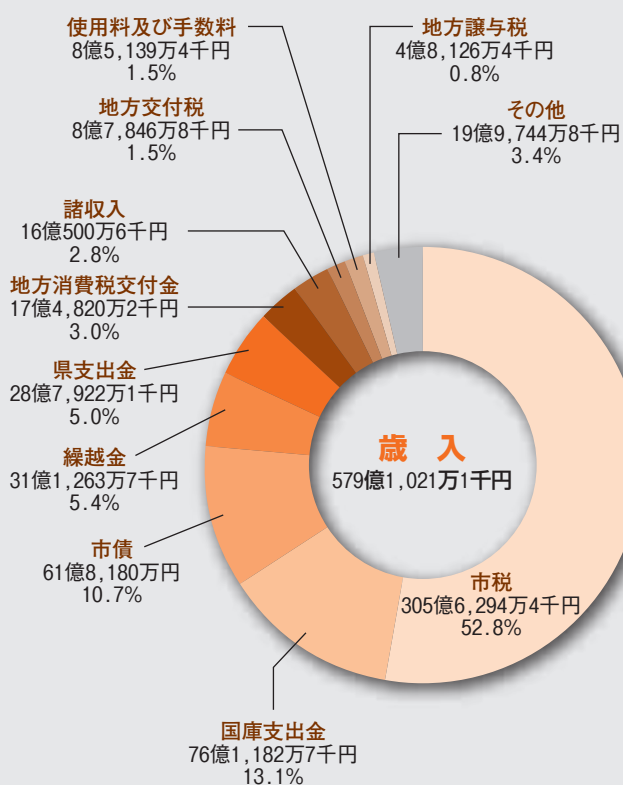
平成21年度の一般会計当初予算額は、506億6,000万円でした。その後6回の追加補正を行い、最終予算額は前年度からの繰越事業費を含めて598億9,840万5千円となりました。

この予算に対する決算額は、歳入が579億1,021万

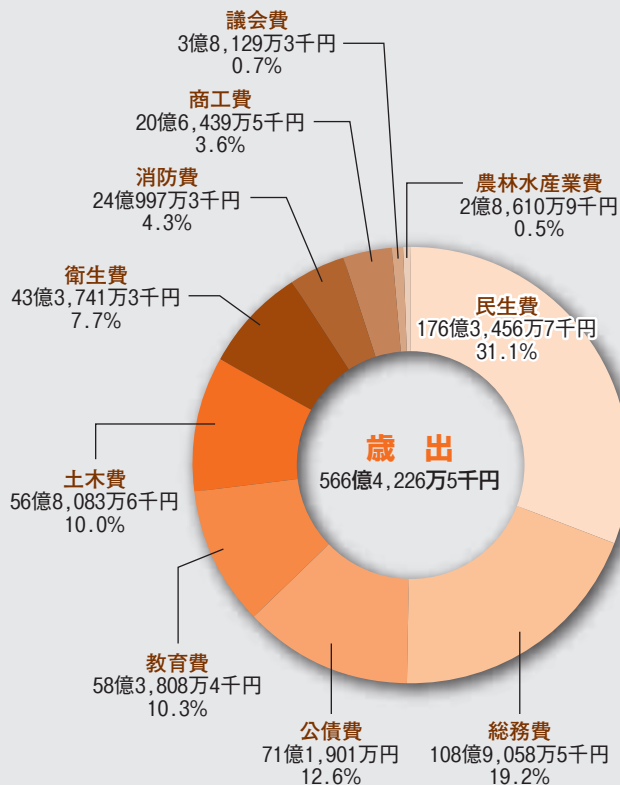
1千円、歳出が566億4,226万5千円で、差し引き12億6,794万6千円となりました。この中には、事業の繰り越しにより平成22年度に繰り越される財源4,365万9千円が含まれているので、これを差し引いた実質収支は12億2,428万7千円となりました。

【図1】

#### 歳入



#### 歳出





## 歳入 前年度比5・5%の増

歳入の内訳は、8ページ図1のとおりです。構成比では市税(52・8%)がトップで、前年度決算額に比べて16億2,398万2千円の減少となりました。続いて国庫支出金(13・1%)、市債(10・7%)、繰越金(5・4%)の順となっています。歳入全体としては、前年度に比べて30億2,608万3千円の増加(5・5%増)となりました。また市税の市民1人当たりの換算額は表1のとおりです。

## 歳出 福祉向上につながる 民生費がトップ

歳出の内訳は、8ページ図1のとおりです。構成比では、民生費(31・1%)をトップに総務費(19・2%)、公債費(12・6%)、教育費(10・3%)の順となっています。歳出全体としては、前年度に比べて48億7,077万3千円の増加(9・4%増)となりました。また支出額の市民1人当たりの換算額は表1のとおりです。

## 別計 実質収支は6会計で 13億5千万余円

国民健康保険や公共下水道事業などの6つの特別会計の決算額は、歳入が369億5,916万5千円、

歳出が355億3,594万4千円で、差し引き14億2,322万1千円となりました。この中には、公共下水道事業の繰り越しにより平成22年度に繰り越される財源6,720万円が含まれていますので、これを

差し引いた実質収支は13億5,602万1千円となります。各特別会計の決算額は、表2のとおりです。

●市債  
市の借入金(市債)の現在高は、表4のとおりです。

●市有財産  
市が保有している主な財産は、表5のとおりです。

【表1】市民1人当たりの換算額 ※平成22年4月1日現在の人口/22万6,851人。

市 税 13万4,727円		支 出 額 24万9,689円	
市民税	6万7,490円	民生費	保育所の運営、高齢者や障害がある人へのサービスの提供などの費用 7万7,736円
固定資産税	5万1,983円	総務費	選挙、戸籍、徴税や庁舎管理などの費用 4万8,008円
都市計画税	9,863円	公債費	借り入れたお金の返済などの費用 3万1,382円
市たばこ税	4,566円	教育費	学校・図書館・公民館などの管理運営、文化・スポーツ振興の費用 2万5,735円
軽自動車税	825円	土木費	道路・河川・公園の整備・管理、都市整備などの費用 2万5,042円
		衛生費	ごみ・し尿の処理、環境対策、健康推進などの費用 1万9,120円
		消防費	消防施設の整備や救急活動、災害対策などの費用 1万 624円
		その他	議会運営、農業や商工業の推進などの費用 1万2,042円

【表2】特別会計決算

区 分	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	209億4,460万7千円	202億5,858万4千円
工業住宅団地開発事業	112万5千円	100万円
公共下水道事業	54億6,457万9千円	52億6,674万2千円
老人保健	2億675万4千円	1億8,940万7千円
介護保険	88億1,796万5千円	83億32万3千円
後期高齢者医療	15億2,413万5千円	15億1,988万8千円
合 計	369億5,916万5千円	355億3,594万4千円

【表3】水道事業会計決算

平成22年3月31日現在

科 目	収 入 (うち消費税・地方消費税)	支 出 (うち消費税・地方消費税)	差 引 額
収益的収支	43億3,130万1千円 (2億498万8千円)	37億8,469万4千円 (1億113万3千円)	5億4,660万7千円
資本的収支	1億3,843万7千円 (595万8千円)	13億797万9千円 (3,093万5千円)	(注) △11億6,954万2千円

給水戸数/8万7,993戸、給水人口/22万5,989人(普及率99.6%)

※収益的収支とは、水道水を皆さんの家庭に供給するなど、営業面の収支です。

資本的収支とは、配水管の敷設や施設の建設・改良事業面の収支です。

(注)不足額は積立金などで補てんしています。

【表4】市債の状況

区 分	平成21年度末現在高	平成20年度末現在高
普通会計	600億7,671万8千円	599億7,288万9千円
公共下水道事業特別会計	189億3,784万円	188億2,384万1千円
水道事業会計	88億3,759万5千円	94億1,071万6千円
合 計	878億5,215万3千円	882億744万6千円

【表5】市有財産の状況

	土 地	家 屋 (延べ面積)
行政財産	1,589,143.96㎡	366,934.25㎡
普通財産	102,988.09㎡	7,020.18㎡
合 計	1,692,132.05㎡	373,954.43㎡



## 「健全化判断比率」と「資金不足比率」

### 制度の背景

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率と資金不足比率を算定して監査委員の審査に付し、その意見を付けて議会に報告の上、公表することとされています。

この健全化判断比率のうち、いずれかが早期健全化基準以上である場合には「財政健全化計画」を、また財政再生基準以上である場合には「財政再生計画」を策定して健全化に努めることになります。

同様に資金不足比率は、経営健全化基準以上である場合には「経営健全化計画」を策定して健全化に努めることになります。

### 平成21年度決算での各比率

上尾市は基準を大幅に下回ったため、各計画策定の必要はありません。9月28日の総務省による速報では、実質赤字額があるのは13団体、連結実質赤字額があるのは31団体、実質公債費比率の市区町村平均は11.2%、将来負担比率の市区町村平均は92.8%です。

指 標		説 明	上尾市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計などの実質赤字額(歳入総額-歳出総額)の標準財政規模に対する比率	—	11.61%	20%
	連結実質赤字比率	特別会計を含めた全会計の実質赤字額(または資金不足額)の標準財政規模に対する比率	—	16.61%	40%
	実質公債費比率	一般会計などが負担する元利償還金と準元利償還金の標準財政規模に対する比率	6.6%	25%	35%
	将来負担比率	一般会計などが将来負担する実質的な負債の標準財政規模に対する比率	89.0%	350%	
資金不足比率	水道事業会計	資金不足額の事業規模に対する比率	—	経営健全化基準 20%	
	工業住宅団地開発事業特別会計		—		
	公共下水道事業特別会計		—		

※実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は、赤字額や資金不足額が生じない限り比率がないものとされます(「—」と表示)。

## 平成22年度上半期(4月1日～9月30日)の収支状況

### ●一般会計収支状況

#### 《歳入》

	歳入予算現額	収入済額
市 税	295億8,496万3千円	158億8,423万2千円
地方消費税交付金	15億7,900万円	9億9,126万9千円
使用料及び手数料	8億6,385万円	4億6,499万6千円
国庫支出金	85億9,862万2千円	35億7,213万円
県支出金	30億3,457万4千円	5億6,817万2千円
繰入金	7億2,659万4千円	261万5千円
繰越金	7億4,199万2千円	12億6,794万7千円
諸収入	13億1,444万3千円	2億3,093万6千円
市債	63億8,260万円	0円
その他	40億4,949万1千円	21億4,130万2千円
合 計	568億7,612万9千円	251億2,359万9千円

(収入率44.2%)

#### 《歳出》

	歳出予算現額	支出済額
議 会 費	3億9,338万5千円	1億9,407万6千円
総 務 費	75億4,338万2千円	36億9,045万3千円
民 生 費	203億8,623万5千円	71億8,899万7千円
衛 生 費	47億5,784万4千円	16億1,459万7千円
農 林 水 産 業 費	1億7,477万円	8,012万5千円
商 工 費	25億4,940万5千円	14億3,323万8千円
土 木 費	48億8,519万4千円	10億1,190万6千円
消 防 費	26億7,357万6千円	12億1,211万円
教 育 費	61億7,465万8千円	21億5,239万8千円
公 債 費	73億277万6千円	34億8,481万6千円
予 備 費	3,490万4千円	0円
合 計	568億7,612万9千円	220億6,271万6千円

(執行率38.8%)

### ●特別会計収支状況

	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険	201億5,510万円	76億1,177万2千円	98億478万6千円
工業住宅団地開発事業	137万円	66万5千円	0円
公共下水道事業	50億4,368万4千円	9億1,525万7千円	16億5,059万1千円
老人保健	1,160万円	1,912万円	115万8千円
介護保険	97億9,600万5千円	36億7,769万4千円	36億7,944万円
後期高齢者医療	16億9,170万円	6億2,063万7千円	5億4,429万4千円
合 計	366億9,945万9千円	128億4,514万5千円	156億8,026万8千円

(収入率35.0%)

(執行率42.7%)

### ●水道事業会計収支状況

	予算額	収入・支出済額
収益的収入	43億900万円	22億7,807万円
収益的支出	40億6,500万円	12億6,058万円
資本的収入	1億6,500万円	412万円
資本的支出	16億3,300万円	4億5,318万円